

47. コウゾから紙をつくってみよう！～和紙づくり体験～

大阪府立枚方高校 生物飼育部

1. 子どもたちへのメッセージ

普段何気なく使っている「紙」が、どうやってつくられているのか知っていますか？日本の和紙は、昔から「コウゾ」「ミツマタ」「ガンピ」などの木の皮の部分を使って作られています。昔ながらの紙づくりを体験することで、物を大切にする気持ちや、使う人、作る人の責任、人の暮らしと自然の関係などを考えてみましょう。

2. よういするもの

コウゾの苗、ノコギリ、蒸し器、漂白剤、洗濯のり、紙すきセット、やすり、ミキサー

3. やりかた

- ① コウゾの苗を庭などの広い場所に植えます。お世話はほとんどいりませんが、枝分かれしていく新芽は取り除いた方が最終的に太く大きな枝になります。
- ② 冬頃に収穫します。ノコギリを使って、蒸し器に入る大きさに枝を切りそろえていきます。太い枝の方がこの後の皮をはぐ作業がしやすいです。今後、毎年収穫できます。
- ③ 枝を蒸し器で蒸し、皮をはぎます。蒸し時間が少ないと上手くはぐことができません。
- ④ 皮の表面の茶色の部分を、やすりなどで削りとります。削りとった後は、皮を漂白剤に数日つけるときれいに白くなります。
- ⑤きれいにした皮と水をミキサーに加え、ドロドロになるまで粉砕します。
- ⑥ドロドロになった液に洗濯のりを加えてまぜます。
- ⑦紙すきセットの木枠を使って、紙の繊維をすくいとります。
- ⑧すくいとった紙の繊維を新聞紙の上などで数日乾燥させて、和紙の完成！
- ⑨押し花などと一緒にラミネート加工すれば本の葉にもなります。



4. わかること

和紙がつくられる過程がわかり、生物多様性に人間生活が支えられていることがわかります。植物のセルロースという紙の主成分についても調べてみましょう。

5. 気をつけよう

すべての作業は必ず大人と一緒に許可を得て行い、刃物や火の扱いに気をつけましょう。

6. 問い合わせ先

大阪府立枚方高校 三井裕明宛 TEL072-843-3081 (代表)

7. 参考になる資料

和紙の原材料 <http://www.awagami.or.jp/awawashi/genryo.html>